

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2016-03-02

APM news 145

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

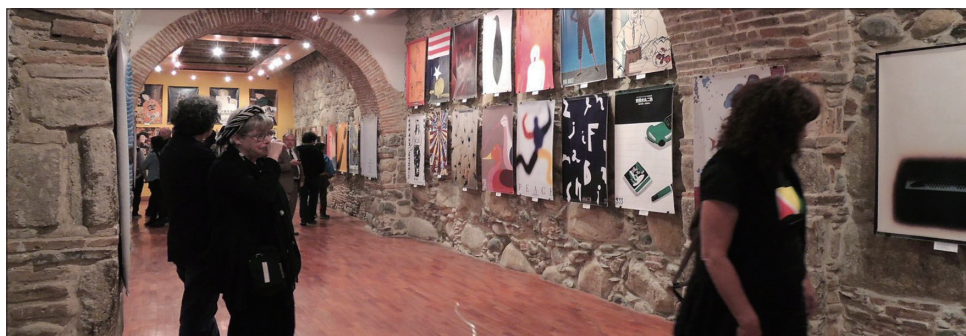
APMポスターコレクション 11月18日(水)~28日(土)

ポリビア国際ポスタービエンナーレ2015

「日本のイラストレーションポスター展 ~CALTEL ILUSTRADO EN JAPÓN」



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



2015年11月、秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) のポスターコレクションによる展覧会「日本のイラストレーションポスター展」をポリビア多民族国・ラパスのポリビア国際ポスタービエンナーレ2015 (Bienal del Cartel Bolivia BICeBé 以下、BICeBé) において開催した。

世界で代表的なポスター展に、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ、ラハティ国際ポスタートリエンナーレ、メキシコ国際ポスタービエンナーレなどがあるが、BICeBéは、2009年から始められた新しいポスター展である。コミッティーのメンバーは13名で、主にポリビア国内のグラフィックデザイナーやイラストレーターを中心に構成されているが、その一員にはメキシコ国際ポスタービエンナーレのディレクターであるハビエル・ベルムデスを迎えている。他に、アルゼンチン、ペルー、コロンビアからもひとりずつメンバーが加わっていて、ラテンアメリカが連合した構成になっている。主催者の代表は、スサナ・マチカオ氏で、現在40代になったばかりの若手グラフィックデザイナーである。若い世代が中心になって運営されていることは、他のポスタービエンナーレにはまだ見られない大きな特徴といえる。ビエンナーレ会期中は、国際ポスターコンペティションの開催と入選した作品による展覧会をメインイベントに関連企画展が街中で行われる。また、ラパス市内のホールで各国のクリエイターや美術館の代表者たちによる講演会が開催される。また、市内の大学の協力のもとデザイン教育のシンポジウムが行われ、現地の学生に対してポスター制作に関連した内容の教育プログラム(ワークショップ)が行われる。教育プログラムを開催することは、同じ南米大陸の先輩格であるメキシコ国際ポスタービエンナーレと同じスタイルをとっている。

本展開催の経緯は、2015年4月にスサナ氏から日本のポスター展を開催することはできないだろうかという相談があったことによる。そこで、APMが収蔵しているコレクションの中から50点を選び、BICeBéと共に企画展を開催することになった。このコレクションは、2005年、多摩美術大学創立70周年記念事業の一環として「東方のイラストレーションポスター 中国・韓国・日本」という共同研究が立ち上げられたことを発端としている。研究資料収集として集められた作品は、2007年に多摩美術大学美術館で発表を行った後、半数以上をAPMに収蔵している。

日本のポスター作品には、元来から豊かなイラストレーション表現が用いられてきて、それが現代にまで続く大きな特徴になっている。そのことをポリビア国際ポスタービエンナーレを通して展覧会をご覧になった多くのラテンアメリカの方々にご理解いただけたのではないかと考えている。(たかだみつみ・APM学芸員)

※ ポリビア(正式名称はポリビア多民族国):南米大陸のほぼ中央に位置し、ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン、チリ、ペルーと国境を接した海のない内陸国である。国土は日本の約3倍で、主要都市の半分近くが標高2000m~4000mという高地に位置している。人口約1,003万人、その構成は非先住民に対して先住民が過半数を占めるといふ、南米の中でも特に先住民の人口が多い国といえる。

● ポリビア国際ポスタービエンナーレ (BICeBé) のURL <http://www.bicebolivia.com/exhibiciones-bicebe-2015>